

平成 27 年度第 2 回総合教育会議 会議録

1. 日時	平成 28 年 2 月 18 日 (木) (午後 3 時から)
1. 場所	市来庁舎 2 階庁議室
1. 出席者	<p>田畑誠一市長</p> <p>富永伸博委員長・徳重涼子委員・福田恵一委員・宮之原加代子委員 有村孝教育長</p> <p>臼井総務課長 書記 後潟総務課主幹</p>
1. 協議事項	<p>1 いちき串木野市立小・中学校の統廃合について</p> <p>2 小規模校の統廃合に関するアンケート調査結果について</p>
臼井課長	<p>只今から平成 27 年度第 2 回総合教育会議を開催します。 市長挨拶をお願いします。</p>
田畑市長	<p>皆様、こんにちは。平成 27 年度も残すところ 1 月余りとなって参りましたが、この 1 年間、富永委員長を中心に、教育委員の先生方には本市教育行政全般に目配り、気配りを賜りましたことに、まずもって感謝を申し上げます。</p> <p>委員の先生方には、定例教育委員会に引き続き、総合教育会議の開催をお願い致しましたところ、快く了承頂き、誠にありがとうございました。</p> <p>大変お疲れのこととは存じますが、よろしく願いいたします。</p> <p>地方教育行政法の改正により総合教育会議の開催が平成 27 年度から義務付けられ、昨年 4 月に第 1 回目を開催し、本日 2 回目の開催となります。</p> <p>第 1 回目の会では主に総合教育会議設置要綱並びに教育施策大綱の審議をお願いしたところであります。</p> <p>その際、喫緊な重大事件・事案が控えている場合を除き、総合教育会議は年 2 回程度の開催を計画している旨の話をいたしておりました。</p> <p>本来ならば、予算編成に取り掛かる前に 2 回目を開催し、教育委員の先生方から、教育行政全般にわたって、ご意見・ご指導等をお聴きし、予算編成に反映する場にしたいというのが私の思いであります。平成 27 年 11 月の頃は、教育長も連日「小規模校の教育の在り</p>

	<p>方を考える会」で地域に入って説明会を開催されており、又、国民文化祭をはじめとする諸イベント・行事が重なっていた時期でありましたことから、事務が輻湊し、なかなか開催に至らなかった経緯がございます。</p> <p>予算編成に当たっては、教育長から種々、要望・意見を賜って編成致しましたので、ご理解とご容赦を賜りたいと思います。</p> <p>本日は、教育長の方から「市立小・中学校の統廃合」に係る件で首長たる私と、教育委員の先生方との意思疎通を図っておきたい事項の協議と、教育委員会が開催した地区説明会のアンケート調査を含めた結果報告をさせて欲しいと要望もございましたので、この時期の開催となりました。</p> <p>学校の統廃合問題は非常に重要な、かつ微妙な案件で、慎重な対応が望まれる問題だと思っておりますので、共通理解をしておく必要性を私も感じているところです。</p> <p>どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>尚、私の方からは、平成 28 年度予算編成作業が 2 月初旬に完了し、2 月 23 日から開催される 3 月議会定例会で平成 28 年度当初予算案をご審議頂きますことから、その中から、教育予算に関して、どのような点に思いを馳せて予算を組んだかといったことなど、少しお話しをさせて頂きたいと思っております。</p> <p>先生方には、この会の後も校長先生方との意見交換の場が控えているとお聞きしておりますので、スムーズな進行に心掛けて参りたいと思致します。</p>
<p>臼井課長</p>	<p>只今から、協議に入りますが、引き続き市長に座長をお願いいたします。</p>
<p>田畑市長</p>	<p>それでは、引き続き、会次第に沿って会議を進めて参ります。</p> <p>協議題 1、「いちき串木野市立小・中学校の統廃合について」を議題と致します。</p> <p>事務局の説明を願います。</p>
<p>臼井課長</p>	<p>「いちき串木野市立小・中学校の統廃合について」の資料を配布いたしております。これにつきましては、此れまで教育委員の先生方、市長におかれましても、一度目を通して頂いた経緯がございますが、若干繰り返しになりますけれども、説明をさせていただきたいと思致します。</p> <p>1 学校の適正規模・適正配置に係る市・国の動き</p> <p>○小規模校存続のための本市の取組</p> <p>・平成 14 年度から特認校制度の実施と通学用交通機関の確保</p>

- ・平成 26 年度から、市内の全ての小学校から特認校へ通学できるよう規則改正
- ・小規模校活性化委員会を特認校実施校 4 校が年 1 回開催し、特色ある教育活動の実践等の情報交換

○学校規模適正化委員会からの提言（平成 26 年 1 月）

小学校は 1 学級 15 人～20 人、中学校は 1 学年 2～3 学級が望ましい。

○まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 26 年 12 月 27 日閣議報告）

- ① 学校は一定の規模を確保することが望ましいが、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されるので、各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりを推進する必要がある。
- ② 地域コミュニティの核としての学校の役割を重視しつつ、活力ある学校づくりを目指した市町村の主体的な検討や具体的な取り組みをきめ細やかに支援する。

○58 年ぶりの国の学校設置基準の見直し（平成 27 年 1 月）

- ① 通学時間 1 時間以内（公共交通機関利用）
- ② クラス替えのできない小・中学校は「統廃合の適否」を速やかに検討

これを本市に当てはめると、小学校 9 校中 6 校、中学校 5 校中 2 校、計 8 校が統廃合検討対象校になる。

- 検討内容
- ア 小規模学校の統廃合の促進
 - イ 小規模学校の教育環境の改善

2 学校統廃合検討作業の基本的な考え方

学校規模適正化委員会の提言や、まち・ひと・しごと創生総合戦略、国の学校設置基準を踏まえ、教育委員会内部に検討組織を設けて、学校統廃合についての適否等の検討を進める。

なお、検討内容及び経過については、定例教育委員会及び総合教育会議等に報告・審議を願うとともに、市議会へ報告する。

- (1) 基本的には、学校は「地域の元気、地域の拠点」として存続させる。
- (2) 学校統廃合は、保護者や地域住民の意向を十分に把握しながら進める。
 - ①本市の学校規模適正化委員会の提言、及び国の学校設置基準の概要、本市の児童生徒数と学校規模の現状を市政報告会で説明（平成 27 年 7 月）

②統廃合対象校地区説明会において統廃合の適否について意

	<p>見・要望等を聴取（平成 27 年 11 月）</p> <p>③小規模校活性化委員会での状況把握。（特認校実施校 4 校、年 1 回開催）</p> <p>ここまでの、これまで説明及び取り組んできた内容等々でございます。</p> <p>これらの検討を進める中で、平成 28 年度以降の学校統廃合について基準を設けたほうが良いとのことで、次の 3 に掲げております。</p> <p>3 平成 28 年度以降の学校統廃合について（対象校 小 6 校、中 2 校）</p> <p>(1) 児童生徒数・学級数が確定する毎年 4 月を判断基準とし、学校統廃合の適否を検討する。</p> <p>①次のような状況の場合、統廃合計画を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校は、児童数が 10 人未満の状況が 2 年以上続くことや、学年の児童数 0 人の学年が 2 学年になることが予想される場合。 ○中学校は、生徒数が隣接学年で 8 人以下となり、複式学級になることが予想される場合。 ○保護者や地域住民等から、統廃合の意見書等が出された場合。 <p>②統廃合計画を提示し、校区内の意向を十分把握しながら慎重に進める。</p> <p>(2) 存続する小規模校については、教育環境の改善に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①小規模校の良さを活かした特色ある教育活動並びに I C T 教育（情報通信技術）の推進に努める。 ②小中一貫教育の研究推進に努める。 <p>（平成 27 年度から平成 29 年度 国・県の研究指定）</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
田畑市長	<p>資料の説明が終わりましたが、1・2 は現在までの国・市教育委員会の動きや経緯報告であります。3 の部分が教育長から要請のありました共通認識をもっておきたい点のようであります。</p> <p>全般を通して、ご協議頂ければと思いますが、ご意見等はありませんらお願い致します。</p>
富永委員長	<p>確認ですが、3 の (1) の①で、1 つ目と 2 つ目に掲げている児童生徒数の状況がこのような状況になったら、3 つ目の保護者や地域住民から申し出がなくても、進めるという認識でしたよね。</p>
有村教育長	<p>1 つ目は小学校、2 つ目は中学校の基準であります。この 2 つの基準は、このような状況になったら、教育委員会としては、統廃合計画を</p>

<p>富永委員長</p>	<p>作成し、1～2年前には、地区に提示し、校区内の意向を十分把握しながら、慎重に進めていきたいと考えております。</p> <p>地区説明会を繰り返し、繰り返し行っていきたいと考えております。</p>
<p>有村教育長</p>	<p>3つ目については、1つ目と2つ目とは、別に考えるということですね。</p>
<p>富永委員長</p>	<p>1つ目2つ目の基準にならなくとも、保護者・地区住民等から要望が出てきましたら、実態を把握しながら統廃合計画を提示していくと考えています。</p>
<p>有村教育長</p>	<p>現状であてはまる学校はありますか。</p> <p>現状ではありません。</p> <p>ただ、小規模校の中で、11人という学校もありますので、年度によっては、転出や特認校生がいなくなったりすると、10人未満になる可能性はありますが、今のところは、1歳児以上の人口推移を5年間ぐらい上げてみますと、10人未満になるというのはありません。</p>
<p>田畑市長</p>	<p>当初心配しましたのは、国が58年ぶりに学校設置基準の見直しを打ち出しましたが、その基準に沿って、統廃合を進めなければ、交付税措置とかに、ペナルティーがあるのを心配しましたが、今の所なさそうであります。</p>
<p>有村教育長</p>	<p>文科省は、統廃合をしないで、存続する小規模校については、ICT教育の推進に努めるよう指導されております。</p>
<p>田畑市長</p>	<p>私は、基本的な考え方として、教育はもちろんでありますが、光の当たりにくい所、市街地から遠いところに政治の光を当てるのが行政だと思ってこの道に入っておりますから、基本的には、地域の方、子どもの意見も含めて、「統廃合はしないで頑張る」ということであれば、小学校については残すという方針で一貫してやってきております。</p> <p>要するに、この様な事態に至ったら、教育委員会として、統廃合計画案を作成して、地域の方と協議するということですね。</p> <p>一つの目安にするということですが、よろしいですか。</p>
<p>富永委員長</p>	<p>このような基準を小規模校区のところにお話ししますと、逆に10人より下らないように、若者を集めたり、特認校生を集めたりして、一生懸命頑張っていこうとするのが出てくるような気がします。いい刺激になるのかなというふうにも思います。</p>

田畑市長	<p>そうですね。ある意味一つの危機感といいますか、皆が結束する弾みになるのではと思います。</p>
有村教育長	<p>県内の教育長会でも、積極的に統廃合を進めるところと、進めないところと半々であります。</p> <p>地域が寂れるので、最後の最後まで存続させるという所もあります。本市もそれに近いのかなと思います。</p> <p>しかし、10人を下回ると、教育環境的に好ましい学校の呈をなさないので、進めてはいきます。でも最後は、市長が述べられたように、地域住民が残すと言われれば残していきます。合意が得られなければ統廃合は出来ないわけですから。</p>
徳重委員	<p>地域に魅力があって、「そこに若い人が住みたい」と思う様な、「ここに住まないともったいない」と思う様な所がたくさんありますよね。そういうのを発信し、「他所から子供連れで移住したい」というような、「来てください」というような施策はないですか。</p>
田畑市長	<p>今、国を挙げて、ふるさと創生という、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を掲げております。まさに、徳重委員が言われるとおりであります。地方の人口減少に歯止めをかけるのが狙いであります。</p> <p>本市も色々な定住対策を実施しておりますが、例えば、昨年から本市の地方に居を構えていただくと50万円、市街地に居住していただいたら30万円補助する制度を作りました。</p> <p>更に、28年度から40歳以下の所帯には10万円、市内の大工さんを使ったら、10万円を上乗せする制度も新たに作りました。</p> <p>言われるように、魅力ある制度を作らないといけませんね。</p> <p>今、「地域おこし協力隊」を若者等3人募集しております。毎年更新して最大3年間は契約できますが、魅力を感じたらそのまま定住する可能性もあります。</p> <p>今度の予算はあらゆる部門で、一言でいいますと、人口増対策のための予算を組んでおります。</p>
田畑市長	<p>その他ご意見等ありませんか。</p>
各委員	<p>なし。</p>
田畑市長	<p>平成28年度以降の学校統廃合の適否については、ここに記載してありますような共通認識のもと、進めていくことを確認しておきたいと思います。</p>

田畑市長	次に、協議題2のアンケート調査結果報告に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。
臼井課長	<p>アンケート調査結果であります。教育委員の先生方には、以前ご報告をさせて頂きましたので、若干重なる部分があるかと思いますが、ご了承いただきたいと思います。</p> <p>(各地区のアンケート調査結果報告)</p>
田畑市長	<p>小規模校でもいろいろと状況に違い、温度差があるように感じました。小学校、中学校でも違いがあるように感じたところです。</p> <p>さきほど、平成28年度以降の学校統廃合の適否検討にあたっての判断基準について共通認識を持っておこうという話もされましたので、ここは、それに沿って判断・協議してまいりたいということによろしいでしょうか。</p> <p>それではアンケート調査結果報告については、以上で終わります。その他、特にございませんか。</p>
各委員	なし。
田畑市長	無ければ、協議事項については以上で終わりたいと思います。
田畑市長	<p>引き続き、私の方から第1回総合教育会議で確認された事項の取り組み状況報告や、平成28年度当初予算に組み込みました事業費のうち、教育行政関連予算の主なものについて、思いや考え方についてお話しをさせて頂きたいと思います。</p> <p>まず、報告事項であります。第1回総合教育会議で共通認識を持って今後取り組んでいきたいとした事項のうち、学校の適正規模、適正配置に係わる国や市の動き、考え方についての市民への周知活動については、昨年7月から8月にかけて市内16地区で開催いたしました市政報告会の場で、市民の皆様へ情報としてお繋ぎしました。</p> <p>次に、平成28年度当初予算を編成する中で、教育予算に関して留意した点について述べてみたいと思います。</p> <p>平成27年度末において数年来の懸案でありました学校施設の耐震化工事が完了してまいりますことから、28年度以降は大規模改修や学校施設環境整備に重点を置きたいと考えております。</p> <p>28年度当初予算では、水捌けが悪いと指摘されておりました生冠中学校のグラウンド排水対策事業を予算化しました。併せて、生福小学校との間の路面整備などにも取り組んでいく計画であります。</p> <p>また、小学校・幼稚園の教室や教職員室への空調機設置に向けた調</p>

査費を組んだところでは、地球温暖化の影響なのではないかと、気温が年々上昇し、学習環境や先生方の勤務環境としては厳しい状況が続いていることから、勉学に快適な環境整備の必要性を感じての予算化で、どのぐらいの事業費が必要になってくるのかを把握するための調査費であります。事業費を見極めた上で、年次的に空調機設置に取り組んでいきたいと思っております。

学力向上に向けた学習環境整備に関しては、

I C T（情報通信技術）教育の推進を図るため 27 年度補正予算で導入したデジタル教科書（英語）を有効に活用すべく、27 年度に引き続き、大型テレビ（50 型モニター）設置費を予算化し、5 中学校の全教室に配置するように致しました。

また、パソコン室のパソコンを年次的（リース期間満了時）にタブレット併用型に切り換えていくようにしたところでは、必要に応じて、モニター部分を取り外してタブレットとして使えるタイプのものに切り換えていきたいと考えております。

給食センター建て替えについては

27 年 12 月議会に補正予算を組み、現串木野給食センターの隣地（裏山）の測量を実施し、28 年度は測量した裏山の造成設計予算を計上しました。28 年度中の補正対応になっていくと思っておりますが、土地購入と建物の基本設計にかかりたいと考えているところです。

平成 31 年 9 月の運用開始を目指して精力的に取り組んでいきたいと考えております。

次代を担う子ども達の教育環境整備は、私どもに課せられた大きな責務でありますから、心して取り組んで参りたいと思っております。

以上で私の方からの話を終わらせて頂きますが、平成 27 年 10 月 30 日に策定した「いちき串木野市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015」で取り組む事業の中で定めた教育行政に係わる部分については教育長から説明をお願いします。

有村教育長

平成 27 年 10 月 30 日に策定した「いちき串木野市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 2015」について私の方から少し繋いでおきたいと思っております。

総合戦略においては、取り組もうとする施策の 26 年度の状況を数値で押さえ、それを基準値として、5 年後の目標値を設定（数値化）し、達成に向けて精力的に進めていくという考え方で策定されております。

総合戦略 2015 の教育関連施策は、

「教育の充実と人材育成」に力点が置かれた形になっており、2 つの項目があります。

1 つに、特色を活かした教育の推進及び学習環境の充実

	<p>2つに、次代を担う人材の育成が掲げられております。</p> <p>「特色を活かした教育の推進及び学習環境の充実」の具体的な施策としては、</p> <p>「英語のまち」の推進。 「ICT（情報通信技術）教育」の推進。</p> <p>「家庭教育」の支援の3つの個別施策を掲げております。</p> <p>「次代を担う人材の育成」の具体的な施策としては、</p> <p>「市内公立高校の活性化支援」 「国際交流事業の推進」</p> <p>「次代のいちき串木野市を担う若者（青年）リーダー育成」の3つを個別施策として掲げているところです。</p> <p>詳細については、本日「総合戦略2015」冊子をお届け致しましたので、のちほどお目通し頂ければと思います。</p> <p>私からは以上であります。</p>
田畑市長	他に、委員の先生方から御質疑、御意見等ありませんか。
各委員	なし。
田畑市長	無ければ、事務局の方から何かありませんか。
事務局	ありません。
田畑市長	<p>それでは、特に無いようでありますから、本日の総合教育会議は以上で閉じて参りたいと思います。</p> <p>小中学校の適正規模・適正配置問題は時間をかけて、保護者・地域の皆様の了解を得ながら進めていかねばならないことですから、今後とも協議を重ねて参りたいと思います。</p> <p>長時間、熱心にご審議いただき有難うございました。</p> <p>以上で、第2回総合教育会議を閉会したいと思います。</p> <p>大変、ご苦労様でした。</p> <p style="text-align: right;">(午後4時20分)</p>